

●国立情報研究所、「HOME' S」掲載の賃貸物件データを研究用データとして無償提供

国立情報学研究所は、11月24日より、HOME' Sを運営する株式会社ネクストから提供を受けた賃貸物件データ（HOME' Sデータセット）を、研究者向けに無償提供を始める。

データの概要

- ・ HOME' Sに2015年9月時点で掲載されていた日本全国の賃貸物件データ 約533万件（物件画像データ 約8300万枚）
- ・ 全国約12,000の加盟不動産店舗から収集
- ・ 物件種別（マンション、アパート、一戸建てなど）
- ・ 費用（賃料、管理費、敷金、礼金など）
- ・ 部屋面積、間取り、築年数、建物構造など
- ・ 立地（市区町村・郵便番号、最寄り駅・徒歩分、最寄り小学校・中学校・コンビニ・病院までの距離など）
- ・ 諸条件（オートロック、システムキッチン、バス・トイレ別、エレベーター、駐車場など）
- ・ 物件特徴（フリーテキスト）
- ・ 賃貸物件の画像データ（約8300万枚）は、JPEG形式、最大120×120ピクセル、画像種別がメタデータとして付与（間取り図、外観、内装、玄関、居間、キッチン、寝室、風呂など）、写真説明（フリーテキスト）も一部付与
- ・ 物件を直接特定可能な情報（緯度経度、詳細な住所など）は含まれない。

データ利用の対象者

- ・ 公的機関（大学などの教育機関、独立行政法人などの研究組織など）の研究者
- ・ 利用申請後、国立情報学研究所およびネクストによる簡単な審査がある。

データ提供の意義

- ・ 画像とテキストのメディア統合情報処理研究や空間認識技術、感性情報検索などの研究での活用が想定される。
- ・ 所在地情報（市区町村）も付与されていることから、地域情報に基づいた情報統合・データマイニングなどへの展開や、地域情報や経済情報を扱う社会学への応用も考えられる。
- ・ 個人情報を含まないために利用上の制約が少なく、自由な発想で利用が可能。
- ・ 異分野連携が進むとともに、データ提供者が想定していなかったような各研究者の独創的な発想に基づく利用が行われることを期待。

（データセット共同利用研究開発センター長/コンテンツ科学研究系教授 大山敬三氏）

[出所：「ニュースリリース」国立情報学研究所](#)

● 国内初の「民泊」向け不動産賃貸物件サイトが物件情報を提供開始

株式会社リーデックスは、民泊向けに不動産オーナーから転貸許可を得た賃貸物件を紹介する Web サービス「booken.jp(ブッケン)」をオープンし、物件情報の提供を開始した。リーデックスによると、こうしたサービスは国内初という。

Airbnb に代表されるインターネットによる民泊仲介サービスの登場により、個人が所有するマンションや戸建て住宅の空き部屋のみならず、個人が賃貸で借りている部屋を「民泊」利用に供する事例も出てきている。一方で、こうした民泊の運用が不動産オーナーからの転貸許可を得ないまま行われることでトラブルが発生し、中には強制退去となるケースもあったという。このサービスは、そうした Airbnb 等で収益をあげたい個人が、民泊の運用が可能な賃貸物件を探す・借りる際に、あらかじめオーナーからの転貸許可を得た物件を検索出来るようにするものである。

物件情報には現在、渋谷区などを中心に 9 物件が掲載されているのみである。リーデックスは、今後 2016 年 4 月までに、物件管理を行う不動産会社及びサブリース会社、50 社との提携による掲載物件数の増加を計画している。

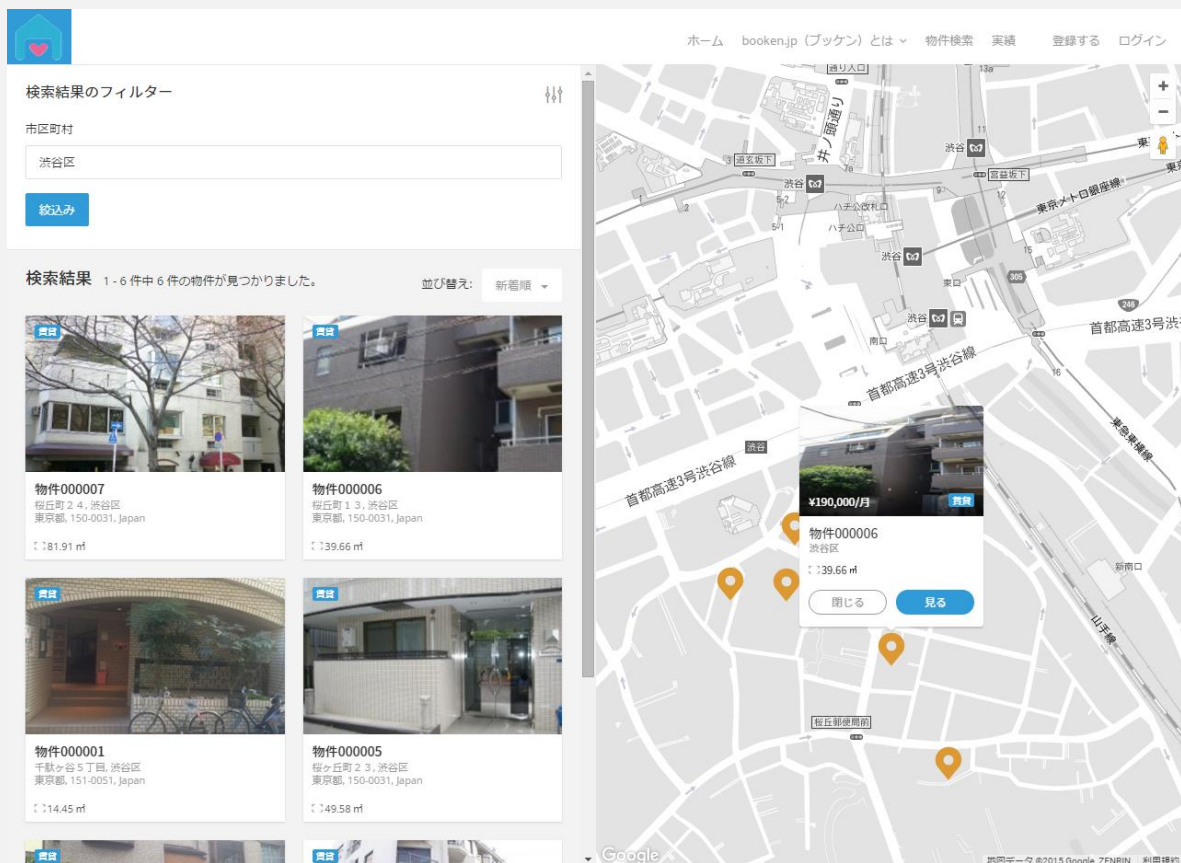


図 booken.jp(ブッケン)で渋谷区の物件を検索した画面(例)

[【プレスリリース】国内初「民泊」専門不動産・賃貸物件サイト「booken.jp\(ブッケン\)」サービス開始\(平成27年11月24日\)](#)
[booken.jp\(ブッケン\)](http://booken.jp)